

背景

- 1、人口減少＝医療需要（医療を受ける人）の減少。年齢にかかわらず医療を受ける人数が減少していく中、病院を維持するには、人口に応じた病床数及び医療施設規模とする必要がある。自治体単位の医療ではなく、医療の広域化が必要となる。
- 2、少子高齢化＝医療従事者（医師、看護師等）の減少。今後高齢者人口が増加する中、現役世代の人口は減少し、医療従事者の減少も予測される。高度医療が進む一方、医療従事者の働き方改革や都市部と周辺部との地域格差により医師不足や診療科の偏在が予測される。

経緯

平成28年4月～7月「地域医療構想における東濃中部の医療を考える研究会」

会の構成 岐阜県、瑞浪市、土岐市、JA岐阜厚生連、土岐医師会
会の報告 早急に当事者間による具体的協議の着手が必要である。

平成29年9月～令和2年3月「東濃中部の医療提供体制検討会」

会の構成 瑞浪市、土岐市、JA岐阜厚生連
合意事項 建設位置：中間地点を基本とする。
経営手法：2市による公設、JA岐阜厚生連による民営。
公的機関：2市共同による新病院の設置主体となる公的機関設置。
機能分担：新病院設置まで、現在の2病院間で機能分担を進める。

令和2年7月～令和3年5月「土岐市・瑞浪市病院事業一部事務組合設立準備会」

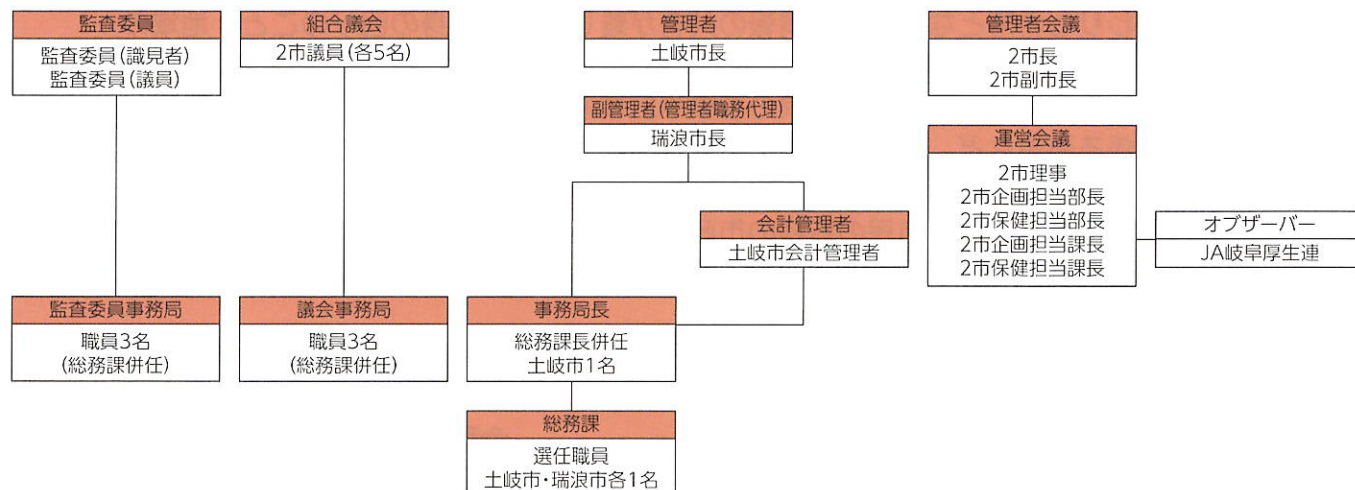
会の構成 瑞浪市、土岐市、JA岐阜厚生連、土岐医師会
審議事項 新病院の建設候補地を決定。負担割合などの最終協議。

令和2年11月～令和3年1月「土岐市及び瑞浪市医療提供体制審議会」

答 申 土岐市肥田町浅野の土岐市有地を最適な候補地とする。
付帯事項：市民から寄せられた意見を十分精査し対応すること。

令和3年3月 土岐市、瑞浪市、JA岐阜厚生連による覚書の締結

東濃中部病院事務組合 機構図



令和3年 6月 1日 東濃中部病院事務組合 設立

令和3年 6月22日 令和3年第1回組合議会 臨時会 開催

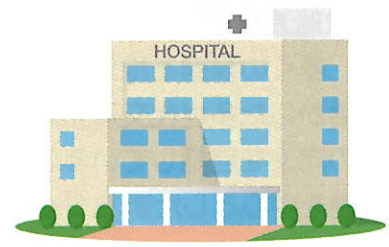
令和3年10月17日 第1回基本構想・基本計画策定委員会 開催

令和3年10月19日 組合議会 全員協議会 開催

令和3年10月29日 令和3年第2回組合議会 定例会 開催

11月～12月 市民ワークショップ 病院ヒアリング 開催

令和3年12月24日 令和3年第3回組合議会 臨時会 開催



新病院
 [設置者] 東濃中部病院事務組合
 (瑞浪市・土岐市)
 [管理者] JA 岐阜厚生連

地域医療構想 = 東濃圏域の医療提供体制見直しの方向性

人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療が提供できる体制を構築するためには、医療機関の機能分化・連携を進めていく必要があるとして「地域医療構想」が策定された。

今後の予定

令和4年 1月	第2回基本構想・基本計画策定委員会
2月	令和4年第1回組合議会 定例会
2月	第3回基本構想・基本計画策定委員会
4月	基本構想・基本計画策定
令和4年度～5年度	基本設計・実施設計・敷地造成実施設計策定
令和5年度～6年度	用地造成・建設工事
令和7年度	東濃中部病院 開院

【建設候補地の位置図】

